

スキル認定証明書

ACPA

■スキル認定証明書とは

ACPAは、個人がビジネスにおける職務遂行能力（ACPA が定義する職種専門分野の実務能力）を一定の基準で習得したことを、第三者機関として証明し、「スキル認定証明書」を発行しています。

ACPAの認証を受けた講座/検定試験の修了（合格）者は、講座ごとに示されたスキル項目レベルを記載した「スキル認定証明書」を取得することができます。

「スキル認定証明書」は個人が修得した実務能力を証明するものです。

「スキル認定証明書」では、成績証明書からは読み取れない、実際に身についたスキル（実務能力）を表しています。「スキル認定証明書」を成績証明書と併せて提示することで、個人の持つスキル（実務能力）を客観的に表すことができ、評価することができます。

<証明書 イメージ>

ACPA

スキル認定証明書

ACPAメイト番号 SK-1111-1111-AA
氏名 実務 太郎 様

貴方は、実務能力認定機構が認証した講座において下記のスキルを修得し、認定されたことをここに証します。

2011年8月1日
特定非営利活動法人 実務能力認定機構
理事長 寛 捷彦

| 習熟度 | 講座名称 / 講座実施機関名称 | 修了年度 |
|-----|--|------|
| 1 | ISCLUE ビジネス実務講座 販売企画 株式会社 シュビキ | 2006 |
| 2 | 企業実務特論：マーケティングベーシック 株式会社 早稲田総研インターナショナル | 2006 |
| 2 | 企業実務特論：マーケティングベーシック 株式会社 早稲田総研インターナショナル | 2006 |
| 2 | 企業実務特論：マーケティングベーシック 株式会社 早稲田総研インターナショナル | 2006 |
| 2 | 企業実務特論：マーケティングベーシック 株式会社 早稲田総研インターナショナル | 2006 |
| 2 | 企業実務特論：マーケティングベーシック 株式会社 早稲田総研インターナショナル | 2006 |
| 2 | データベース I SQL入門 (2006年度) 早稲田大学メディアネットワークセンター | 2006 |

※習熟度の基準は以下のとおりです。
1: スキル項目について基本的な内容を概略理解している
2: スキル項目について詳細な内容を深く理解している
3: スキル項目について実践に活用できる高度な内容を理解・習得し、実際に活用できる
※記載されたスキルの詳細については ACPA 実務能力基準情報サイト (<https://acpass.acpa.jp>) をご参照ください。
※講座名称は、完全には表示されていない場合があります。予めご了承ください。

1/2 Accreditation Council for Practical Abilities

取得スキルを表示しています。

スキルの習熟レベルについては「習熟度」で表されています。
習熟度レベルは1～3まであります。

どの科目でスキルを習得したかがわかり、成績（合格）証明書とあわせて確認することができます。

ACPAとは

実務能力認定機構（ACPA：アクパ）は内閣府から認証を受けたNPO法人です。企業・大学等教育機関・官公庁の賛同のもと、2003年に設立され、産学官連携による新しい教育システムと実務能力認定制度を確立し、社会が求める人材の育成を目標とした活動を行っています。

早稲田大学、(株)サーティファイ、(財)画像情報教育振興協会(CG-ARTS協会)を初めとした大学・教育機関の提供する約120以上の講座・検定試験を認証し、認証講座/検定試験を修了した個人に対し、習得スキル（実務能力）を認定しています。

スキルの詳細についてはAcPASSをご覧ください。

AcPASSは、ACPAが提案する実務能力基準の情報を活用していただくためのサービスです。

AcPASSサイト：http://acpass.acpa.jp/acpass/acpass_top.php